

憲法かえずに政治をかえよう！

# かけはし

社会福祉法人山形虹の会  
山形虹の会と福祉を良くする友の会

山形県鶴岡市民田字代家田100-1  
TEL 0235-25-1131 FAX 0235-25-0810

介護老人保健施設かけはし 内

## 第24回 山形虹の会と福祉を良くする友の会 定期総会開催される

去る七月二十九日(土)十時より介護老人保健施設かけはし会議室を会場として、第二十四回山形虹の会と福祉を良くする友の会(以下、友の会)総会が開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染症防止の為に、友の会役員を中心に役員十五名参加の小規模開催となりました。総会に先立ち、三浦会長からは、四月からの友の会市再開を実現できたねぎらいと共に、これからも創意工夫をして私たちにできるボランティア活動を少しずつ増やしていきたいと挨拶がありました。また橋理事長からは、5類となってもコロナウイルスがなくなつたわけではなく、厳重な注意を払いつつ、新入職員の歓迎会など職員同士の交流も一定の制限を持ちながら再開し始めているので、友の会活動も再開できるよう協力していきましようとお挨拶を頂きました。

議長には、介護老人保健施設かけはし相談室の柴田優子課長が選任され、第一号議案から第六号議案まで報告の後に、議事について意見交換がされました。議案は満場一致で全て承認され、新しく事務局となった佐藤征子事務職員も紹介を受けました。

最後に法人を代表して、今年六月から新任となった齋藤雄一事務局長より二〇二二年の法人



総括と二〇二三年の法人方針について説明を受けました。介護事業所の倒産が過去最多を更新している情勢ではありますが、当法人は地域の方々から、期待されている介護の拠点として、運営するサービスの特色を活かし、地域の様々な団体と連携しながら生活を支援していく「かけはし」を目指していくと説明を受けました。

わたしたち友の会も、法人と一緒に、地域の医療・介護の充実を求める運動を行いつつ、人と人の交流に楽しみが持てるようなボランティア活動を行い、法人の活動を支援していきたいと思えます。

友の会監事・老健事務長

神田大輔

(関連資料が二、三面に掲載されています。)

**全日本民医連  
創立70周年記念行事企画  
「民医連で働く職員」写真部門  
当法人が応募した写真  
「笑顔のかけはし」が  
入賞しました!**

八月十九日(土)全日本民医連70周年記念行事が東京ドームホテルにて開催されました。全日本民医連は70周年の記念事業として、三つの企画(私と民医連の手記・漢字一文字で表す民医連・民医連で働く職員写真)の応募を企画しました。全国からたくさんのお応募があった中から、選考の結果、当法人が応募した写真「笑顔のかけはし」が佳作に選ばれました。審査をしてくださったプロのカメラマンの目に止まる老健かけはし・菅原秀美さん(介護福祉士)の笑顔に引き寄せられます。入賞おめでとうございました!

介護課長 齋藤祐佳



作品名「笑顔のかけはし」

### かけ橋

米国が六日、九日に原爆を投下してから七十八年を迎えたこの八月、改めて原爆と人類の共存はあってはならないものと強く感ずる。

ロシアが二〇二二年二月二十四日にウクライナを一方的に侵略し全世界の主な国から総すかみをくらい、自らの旗色が悪くなつてくると核兵器の使用をちらつかせ、ウクライナに支援している国々の援助をやめるよう脅かしている。

しかしこれは核兵器を持つている国が戦争時での核兵器使用の抑止力としてお互いが固辞し合う限り永遠に続くジレンマといえる。

我が国自体も日米安保条約のもとアメリカの核の傘のもとに入っている。核不拡散でも永遠にこのジレンマは続く。

八月九日に開かれた被爆七十八年長崎平和記念式典で、被爆者代表の「平和への誓い」で工藤武子さんは「唯一の戦争被爆国の日本が、地球と人類の未来を守るために核兵器廃絶しかない」と強く訴えるべきだ」と求めました。まさに正論、だれでもわかる訴えです。

しかし日本の岸田首相は核不拡散条約の堅持・強化を訴え、核兵器禁止条約については一切触れていません。核兵器を持つ国がある限り脅しと抑止のジレンマはなくなりません。戦争そのものをなくす、それが一番の願いです。

隅 爺



## (2)高齢者運動とその他の活動

- ・11月 自治体キャラバン学習会へ1名参加。
- ・11月 自治体キャラバン（鶴岡市・庄内町・三川町）へ1名参加。
- ・3月 高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳以上高齢者窓口負担2割化の中止を求める請願署名のとりくみ。

## (3)その他の活動

- ・4月「安心・安全の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名（新しいのち署名）」のとりくみ。
- ・6月 「生協さくら病院」クラスター支援カンパ活動。
- ・10月 2022年全国介護学習交流集会。
- ・2月 トルコ・シリア大地震への支援募金。
- ・3月「健康保険証廃止の中止を求めマイナンバーカード取得の強制に反対する請願署名」のとりくみ。

## 2. 組織を強化する活動

- (1)共同組織強化月間を中心に部門ごとに目標を設定し、会員拡大にとりくみ、新たに56名の会員を迎え会員総数3,227名に到達しました。尚、8月には友の会入会パンフレットを更新し勧誘の際に活用しました。  
(年間目標50名：対比112%)

- (2)月刊誌「いつでも元気」は、例年通り、新入職員入職時、共同組織強化月間中に重点的に読者拡大に取り組みました。読者を6名（休業明け再講読含む）増やしましたが、退職や産休等による購読中止が14名あり、読者総数は121名に減少してしまいました。

- (3)ニュース「かけはし」は、2,300部を隔月定期発行。（第130号～135号）

②

山形虹の会と福祉を良くする友の会  
第24回総会議案

## 2022年度山形虹の会と福祉を良くする友の会活動報告

## 〈はじめに〉

2022年2月24日にはじまったロシアのウクライナへの武力侵略は現在も続いています。武力で他国の領土を奪うという行為は人類の社会からなくさなくてはいけないと思います。

22年度はコロナ感染の影響もあり昨年同様友の会活動は開店休業状況でしたが、ようやくコロナも終息の兆しが見えてきたようです。

コロナの感染拡大で対応された職員の皆さんのご苦勞、本当に頭が下がります。一刻も早く正常業務に戻れるよう、そして利用者の皆様が安心して利用できるようになることをねがっています。

## 〈主な活動〉

## 1. 福祉を良くするための活動

## (1)共同組織の活動

- ・2022年度は、介護老人保健施設かけはしにて新型コロナウイルス感染症のクラスターが2回発生しました。その間は活動を休止し、共同組織担当は施設の応援にまわりました。
- ・例年4月に開催している総会は、延期し7月30日に実施しました。講演等は見合わせ、役員を中心に14名が参加しました。
- ・10月1日～11月30日、共同組織強化月間は、期間中、新会員を55名増やし、年間目標を達成しました。月刊誌「いつでも元気」は、山形県民医連からの要請があり、8月の読者拡大キャンペーンに参加しました。そのキャンペーン期間に5名の加入があり、正職員の購読率は100%となりました。

①

- ・ニュース折りボランティア活動を不定期に実施しました。11月頃からデイケア利用者においてニュース折り作業を手伝っていただきました。
- ・お茶会は実施しませんでした。

## (3)ボランティア交流会

- ・コロナ感染予防のため中止しました。

## 4. 友の会市とサークル活動

- (1)友の会市は、感染対策を講じての開催を模索しましたが、今年度は実施できませんでした。

## (2)サークル活動

- ・コロナ感染予防のため見合わせました。

## 5. 平和を守る活動

- ・4月 「ウクライナへの人道支援募金」のとりくみ。
- ・7月 平和の波交流会に1名参加。
- ・8月 辺野古新基地建設中止団体・個人募金のとりくみ。
- ・9月 全日本民医連改憲発議を許さない2022決起集会。
- ・10月 いのちまもる10.20総行動…役職員10名参加。
- ・1月 地協大軍拡・大増税を許さない「安保3文書」改定学習会。
- ・3月 さようなら原発 大軍拡・大増税に反対する市民集会。



④

◇編集会議 18回実施

◇発行部数 2300

内訳 郵送250 請求書同封330

団体配布：共立社 医療生協1100

個人配布185部

- (4)友の会役員会は、5月9日、7月4日、9月5日、11月2日、1月11日、3月1日、と計6回実施しました。

## (5)全日本民医連及び山形県民医連共同組織連絡会への参画

- ・9月11日 第15回共同組織活動交流集会in山梨（1日目・web開催）に3名が参加しました。
- ・9月12日、第15回共同組織活動交流集会in山梨（2日目・web開催）に2名が参加しました。
- ・5月19日、9月29日、3月10日、共同組織連絡会役員会（田麦荘）に出席しました。

## (6)役員研修、交流会など

- ・共同組織連絡会活動交流集会を検討しましたが実施しませんでした。

## 3. 山形虹の会事業への協力・支援活動

## (1)諸事業への協力

- ・「新入職員歓迎会」「互助会暑気払い」「かけはし祭り」「かけはし忘年会」は、新型コロナウイルス感染予防のため中止。
- ・1/4法人年頭集会1名出席。
- ・法人第三者委員会へ委員を1名派遣。

## (2)ボランティア活動

- ・米、りんご、トマト、さつま芋、菓子類等の販売を不定期ではありましたが、老健事務課前で実施しました。さつま芋の袋詰め作業を、デイケア利用者から協力いただきました。

③

### 2023年度山形虹の会と福祉を良くする友の会活動方針

#### <はじめに>

4月から友の会市を再開できました。本当によかったです。しかしまだまだ感染の危険は変わっていません。注意しつつ活動していきましょう。

人との交流やつながりがあってこそそのボランティアです。コロナという災害が世界中で蔓延し、人間社会のもろさを露呈したように思います。それだからこそ人のつながりや交流を大切に広めていきたいものです。

これからもあるだろう自然災害に対処するための、暮らし、医療、福祉、介護などの仕組みや社会の在り方が一層大切になってくるのではと思います。

本年度が楽しい活発な活動・交流ができるようになることを願っています。

#### <具体的な活動>

##### 1. 福祉を良くする活動

- ・全国、県の共同組織と連携し、医療・介護制度の改善のための活動にとりくみます。
- ・キャラバンなどを通し、行政への働きかけをします。
- ・核兵器廃絶、平和を守り、社会保障を良くする署名活動にとりくみます。

##### 2. 友の会の組織を強化する活動

- ・引続き会員や月刊誌「いつでも元気」の拡大にとりくみます。
- ・ニュース「かけはし」の定期発行と内容の充実にとりくみます。
- ・定期的に役員会を開催し学習に努めます。

### 2022年度山形虹の会と福祉を良くする友の会収支決算

(対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日まで)

(収入) (単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	215,942	215,942	0	
会費	50,000	58,000	8,000	新会員56名
寄付金	10,000	24,000	14,000	1名の方より頂きました。
雑収入	70,000	79,772	9,772	いつでも元気還元金 50,980円 預金利息2円
共同活動	400,000	400,000	0	法人より
合計	745,942	777,714	31,772	

(支出)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
印刷費	195,000	193,100	▲1,900	ニュース130号～135号
通信費	120,000	117,177	▲2,823	ニュース送料105,123円・案内切手他
事務費	80,000	21,905	▲58,095	会員管理システム保守更新6,160円 他
会議費	90,000	68,770	▲21,230	総会11,904円 役員会56,866円
活動費	220,000	19,910	▲200,090	県連共同組織連絡会費15,937円 他
事務局活動費	20,000	0	▲20,000	
雑費	20,942	7,672	▲13,270	弔電3件7,403円
合計	745,942	428,534	▲317,408	

次年度繰越(収入-支出) 777,714 - 428,534 = 349,180

#### 会計監査報告書

山形虹の会と福祉を良くする友の会  
会長 三浦 澄雄 様

友の会会則により、2023年7月12日友の会事務室に於いて2022年度の会計監査を実施いたしましたので、次の通りご報告いたします。

記

会計に関する諸帳簿及び領収書などを監査した結果、正確に処理されていたことを認めます。

2023年7月12日  
会計監事 菅原 唱子  
会計監事 土田 光恵

6

5

(支出)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
印刷費	195,000	195,000	0	ニュース6回発行
通信費	120,000	120,000	0	ニュース送料・案内切手代
事務費	80,000	80,000	0	会員管理保守更新、インク代
会議費	90,000	90,000	0	総会、役員会
活動費	220,000	220,000	0	県連共同組織活動費
事務局活動費	20,000	20,000	0	
雑費	154,180	20,942	133,238	
合計	879,180	745,942	133,238	

### 2023年度山形虹の会と福祉を良くする友の会事務局の変更について

#### 2023年度山形虹の会と福祉を良くする友の会役員

顧問		須藤 賢三	(元友の会会長)
役員	会長	三浦 澄雄	(山形虹の会理事)
	副会長	五十嵐 みどり	(山形虹の会監事)
	幹事	巖見 励子	
		友野 光雄	
		丸山 光子	
		森 眞里子	
		大久保 久美子	
		渡会 和春	
		廣瀬 智恵子	
		難波 米子	
		神田 大輔	(山形虹の会老健かけはし事務長)
		本間 裕子	
		小林 美恵	
	事務局	佐藤 征子	山形虹の会職員
	会計監事	菅原 唱子	
	会計監事	土田 光恵	

8

- ・事務局も共同組織の研修会等に参加します。

##### 3. 山形虹の会事業への協力・支援活動

- ・かけはし祭り、かけはし忘年会、かけはし文化祭など各事業への協力を行います。
- ・各種委員会などへの参加します。

##### 4. ボランティア活動

- ・ボランティア交流会を開催します。
- ・各種ボランティアの組織と支援協力に努めます。
- ・ボランティア参加者を増やす働きかけを強めます。

##### 5. 可能な限り友の会市を開催し、利用者を楽しみを提供します。

##### 6. 平和を守る運動

- ・メーデーへの参加・平和行進へ参加します。
- ・いのちと暮らし・憲法を守るための署名活動・集会・学習会へ積極的に参加します。

### 2023年度山形虹の会と福祉を良くする友の会収支予算書

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日まで)

(収入) (単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
繰越金	349,180	215,942	133,238	前年度より
会費	50,000	50,000	0	新会員50名
寄付金	10,000	10,000	0	
雑収入	70,000	70,000	0	友の会市売上 いつでも元気還元金
共同活動	400,000	400,000	0	法人より
合計	879,180	745,942	133,238	

7



# 相談の窓口から

## ～認知症介護実践者研修を終えて～ 認知症かな…と思ったら、いつでも相談をください

6月6日から7月31日にかけて、令和5年度 第1回山形県認知症介護実践者研修を受講しました。

この研修は、認知症介護技術の向上を図り、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的としています。

日常的には不適切に思われる行為（興奮や徘徊、ケアへの抵抗など）は、かつては「問題行動」と呼ばれていました。現在は、『認知症の周辺症状（BPSD）』と呼び、適切な対応で症状を減らせると言われています。これは、認知症の人からの重要なサインです。私たち認知症の人に関わる人は、このサインを見逃さずに対応する必要があります。高齢者施設の職員は当然理解していることではありますが、もっと認知症の人が安心して過ごせるように対応の工夫や環境のあり方を知らせていくよう努めていきたいと思ひます。

山形虹の会には、老健に「認知症専門棟」があります。また、認知症の方が家庭的な雰囲気の中で生活するグループホームも運営しています。

認知症サポーター（認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る人）を養成するキャラバンメイトもいます。

身近な人の物忘れが気になったり、ご家族や友人の認知症が心配になったりしたら、かけはしへいつでもご相談ください。

老健かけはし 相談室課長 柴田優子



七月二十五日（火）鶴岡協同の家こびあホールにて開催された学習会に参加してきました。

浜通り医療生協理事 長・菅家新氏より、東日本大震災で起こった東京電力福島第一原子力発電所事故についてのお話を聞きました。地図を用いた講演で、福島の生活や地域の関わりから当時の状況や政府の対応、その後明らかになった問題などそこで生活している菅家氏だからこそ語ることのできる福島の今を知る機会となりました。

東日本大震災以前から原子力発電所の立地県民は再稼働反対運動に取り組んでいます。また、ロシアがウクライナのザポリージャ原発を占拠したことにより、原発自体が戦争で標的となる存在となつてしまいました。この事故は単にエネルギー問題だけではなく、命に係わる問題です。政府には真摯に向き合い、そこで暮らす人々の声に耳を傾けてほしいと強く感じました。

事務課 佐藤征子

### 鶴岡田川地域社保協主催 情勢学習会「原発事故の被災地の今」に参加して

## 今回は車両を使つての避難風水害訓練を実施

7月20日（水）、法人内全事業所が参加した風水害訓練を実施しました。

今年度は地域に大雨情報が発表され、急に夜間に備えた避難が必要になった場合を想定して、グループホームかけはし南館から介護老人保健施設（老健）かけはしへ避難しました。

グループホーム南館は老健と道路を挟んだ敷地に建っており、誘導距離が長い為、今回は初めて車両を使つて避難誘導を行いました。入居者17名が約20分間で避難することができました。

訓練後の反省会では「運転手はすぐに車を動かせるように車内で待機していたほうがよい」「玄関付近で指示する職員の配置が必要」などさまざまな意見が出されました。

近年、台風や線状降水帯の発生などにより川の氾濫も多くなつてきています。風水害は事前に予測できる災害です。いざという時のために、今回の訓練の反省を生かしていきます。

災害対策委員 本間和司



## 介護のお仕事体験会

八月五日（土）、介護のお仕事体験会を開催しました。この日は二名の中学生の参加があり、電動ベッドや車椅子への乗車、介護用のオムツに触れ感などを体験してもらいました。

また、理学療法士、管理栄養士、介護福祉士と交流しながら、リハビリマシンの体験や、介護用食品の試食、利用者とのふれあひなど、楽しい時間を過ごしました。

「介護についてとても深く知る事が出来て楽しかったです。」「自分たちが知らない事をたくさん知れてとても勉強になった。」「介護をする人される人、どちらも負担なく楽にできる工夫がされている事を知り自分が思っている事より楽なんだとわかった。」などの感想が聞かれ、とても有意義な時間となりました。

介護の仕事に興味を持ち、将来の職業として考えてもらえるよう今後も継続していきたいと思ひます。

介護課長 齋藤祐佳

## 介護に関する「不安・悩み」は かけはしへ お寄せください。

相談員・ケアマネジャーが相談に応じます



0235-25-1131

## 特別養護老人ホームかけはし

### 夜間パート介護職員【急募】

- ・勤務時間：20時から24時（1日4時間）
- ・勤務日数：週3～4日（月16～17日）
- ・給与月額目安：80,000円～92,000円
- ・一時金：夏期、年末、介護職員特定一時金
- ・主な仕事内容：キッチン片づけ、タオル類の洗濯、夜間の介助（見守り・オムツ交換等）

※年齢及び資格は問いません。お気軽にお問合せください。

問合せ：  
社会福祉法人山形虹の会  
TEL 0235-25-1131  
本部事務部長 後藤